



香川から子育てをもっと楽しく ネットワークを生かして課題を解決

お母さん目線で地域に密着した子育て情報を発信している、NPO法人わははネット。ネットワークを生かしてお母さんの声をキャッチし、元気な地域づくりを展開している。



●母親と子どもたちの笑顔であふれる「わはは・ひろば」

事業概要

地域密着型の 子育て支援

主催：NPO法人わははネット
開始時期：1998年

香川に密着した子育て情報誌「おやこDEわはは」（2万5000部発行）や子育て情報の携帯メール配信サービス「わははメール」（登録者数約4000名）を中心に、親子の交流スペース「わはは・ひろば」や「ママ∞フェスタ」など、お母さんの声をもとに子育て支援を展開。全国子育てタクシー協会の設立など企業や自治体とコラボレートした活動も多い。

香川に特化して お母さん目線で情報を発信



最も小さな県で、しかも転勤族が多い。香川県に特化した、お母さんたちのリアルな声や情報を集めて情報誌を出そうと考えた。

「おむつはどこで買うのがいい？どこへ行けばお母さんの友だちができるの？香川で子育てをしていて本当に知りたい情報がどこにもなかったんです。それなら自分で発信しよう」と、子育てサークルを立ち上げたのが始まりです」と、理事長の中橋恵美子さん。

香川は面積1876km²と日本でどこへ行けばお母さんの友だちができるの？香川で子育てをしていて本当に知りたい情報がどこにもなかったんです。それなら自分で発信しよう」と、子育てサークルを立ち上げたのが始まりです」と、理事長の中橋恵美子さん。

子どもの年齢・地域別に 携帯メール配信サービス



印刷所と交渉して、素人ながらも自分たちで原稿を書き上げて、1999年11月にやっと「おやこDEわはは」を創刊。「ふたを開けてみれば、大反響だったんですよ」と、中橋さんは胸を張る。3000部が売り切れ、すぐに増刷した。読者からは「香川のこんなところが子育てしやすい」「もっとこうしてほしい」など、数多くの声が寄せられた。その意見をきちんと届

けようと、1年後の2号目では知事インタビューに体当たり。号を重ねるごとに主婦ネットワークが広がり、企業からのスポンサーやイベントの支援が増えていった。2003年からフリーペーパー化し、現在は香川全域に隔月2万5000部を発行している。

情報誌のノウハウを生かして、家にいながら情報を受け取れる方法を考えたのが、携帯メール配信

サービス「わははメール」だ。「子育て中の人は行動範囲が限られるので、住んでいるエリアと子どもの年齢月齢でセグメントしてその人に必要な情報を配信できるシステムをつくったんです。たとえば、1歳の子どもを持つ坂出市のお母さんには、このイベントが面白いとポイントで届けられるのがこだわり。同じ香川の友だちからメールが届くような感覚で受け止められています」

今では登録者4000人の一大ネットワークに成長。アンケートやマーケティング調査の依頼もあり、事業の大きな柱になっている。情報の一方通行ではなく、お母さんたちが子ども連れで自由に意見交換できる場をつくらうと、「わはは・ひろば」もオープンした。

「ネットワークを通して地域の新しい課題が見えてきて、行政や企業と連携してひとつずつ解決しているうちに事業が広がってきた」と、中橋さん。香川から転出する主婦が、わははネットのおかげで子育てを乗り越えられたとあいさつに訪れることも。「さらに女性全体に目を向けて幸せな暮らしを応援したい」と、話す。



●大盛況のわははネット主催「ママ∞フェスタ」



●フリーペーパー「おやこDEわはは」

お母さんたちの声をもとに
地域の課題をひとつずつ
解決していきたいですね。

NPO法人わははネット
理事長 中橋恵美子

法人データ

NPO法人わははネット

- 代表者：理事長 中橋恵美子
- 設立：2002年1月
- 本部所在地：香川県高松市
- 事業内容：地域密着型の子育て環境創生事業
- ホームページ：<http://npo-wahaha.net/>